



# 24分の死闘を超えて

〈柔道〉阿部一二三選手・丸山城志郎選手

この階級では阿部選手と丸山選手が新旧世界王者同士互角の争いを繰り広げていた

二人が同時に技を掛け合いビデオ判定に

それは、相手へのリスペクトの気持ちの表れなのかもしれない

絶対に負けたくない相手でありながら認め合える気持ち

その階級の日本代表を決めるとき歴史に残る死闘と絆の物語があった

2020年12月日本柔道初となる一発勝負の代表選手決定戦が行われたのだ

24分にも及ぶ死闘の末、阿部選手が勝利を収めた

僕を成長させてくれたのも彼の存在があつたから間違いありません

試合後二人はそれぞれ相手を称えた

東京オリンピック柔道男子60kg級で金メダルに輝いた阿部一二三選手

2020年12月日本柔道初となる一発勝負の代表選手決定戦が行われたのだ

24分にも及ぶ死闘の末、阿部選手が勝利を収めた

試合後二人はそれぞれ相手を称えた

丸山城志郎選手

阿部一二三選手

前代未聞の延長20分を超えた時

試合は4分で終わるのだが、決着がつかず延長戦へ

決着がつかず延長戦へ

代表選手決定戦が行われたのだ

勝利を収めた



# キング・オブ・アスリートを目指して、夢への挑戦はまだまだ続く

右代啓祐選手 陸上十種競技オリンピック2大会(ロンドン・リオ)出場



100m走、400m走、1500m走、110mハードル、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げ、走り幅跳び、走り高跳び、棒高跳び

苦手なことへの挑戦が、自分を伸ばしてくれる

陸上十種競技でロンドン、リオデジャネイロと2大会連続オリンピックに出場した右代選手。十種競技とは100m走や1500m走などの走、走り幅跳びなどの跳、砲丸投げなどの投を合わせた10種目で競い、勝者は「キング・オブ・アスリート」と呼ばれる過酷な競技です。

逃げないという姿勢は、競技を超えて日常のいろいろな場面で生きて、人としての成長にもつながっているとのこと。

心に響いた言葉を、どうか活かしていくかが大事

右代選手には大学時代、忘れられない出来事があります。全国大会で



「フェアプレイ宣言」しました!!

トップに立っていました。棒高跳びで大失敗し初優勝を逃してしまいました。この時、いつもは厳しい恩師が叱りもせず「今日からお前のスタートだ」と言ってくれたのです。この言葉が落ち込んでいた右代選手を前に向かせ、悔しさが風化しないその日のうちに、力尽きるまで走り込んだそうです。「自分一人では強くなれません。いろいろな人が声をかけてくれますが、その言葉をどう行動に活かすか、それが大事なんだと思います」。右代選手は翌年から全国大会を6連覇しました。「今は子供たちにとっても、コロナウィルスの影響で大変な状況ですが、夢を持って、それに向かって欲しいですね。工夫さえすれば、どんな状況でも前に進むことはできます」。右代選手自身も国際大会での表彰台という夢に向かって、まだまだ挑戦は続きます。

東京オリンピック・パラリンピックのメダルには、これまでにない特徴があります。さて、どんなメダルなのでしょう?

みんなの家にある不要になった携帯電話などを集めて、部品に使われている金・銀・銅を再利用して製作。みんなの協力のおかげで完成した、世界で初めてのメダルです。

問題 A 光るようにできている B 日本の伝統工芸でできている C リサイクルした金属でできている

【答え】C